

リリース8.1 から8.2への移行に伴う変更：

1) 以下のGESCAPE コードを追加しました。

GESCAPE CRT,64	!タイトルバーにファイル名を表示
GESCAPE CRT,65	!タイトルバーにファイル名を非表示
GESCAPE CRT,51	!メニューバーを表示

2) ロング整数をサポートするため、INPUT コマンドを調整しました。

3) 「コントロール文CONTROL KBD,14;X で、ベースとなるソフトキー番号を設定しても、ソフトキーを一巡するとデフォルト設定に戻ってしまう。」

以下の振舞いを追加して修正しました。

0 - 最小のソフトキーはソフトキー1 (デフォルト),
1 - 最小のソフトキーはソフトキー0. このレジスタはKBD CMODE ON時には無効。

4) レガシー・エディタ使用時に、DELコマンドで複数コンテキストに跨る削除を行うとGPF (=General Protection Fault) が発生していました。

5) 複数の制御レジスタで、1つの配列に正しく格納できるようになりました。場合によっては、"Basic Bad Stack"となってスタックが解除されてしまうことがあったのを解消しました。

6) USER KEY コマンドを使って既存のUSER KEYの定義変更をしようとする時、ソフトキーが不必要に更新されてしまっていた。フリッカー発生を防ぐことにより解消しました。

7) 「子ウィンドウを閉じる際、SEPARATE ALPHA FROM GRAPHICS モードがデフォルトのMERGE ALPHA WITH GRAPHICS モードに戻らず、プログラムを新規に開く時にGPFが発生する。」

ウィンドウ・クローズ時の状態にかかわらず、常にMERGE ALPHA WITH GRAPHICS モードで立ち上がるように修正しました。

8) 「エディタからサンプルプログラムを貼り付けると、複数のスペース[空白]を含むコード行にエラーが挿入される。」

スペース内の余計な文字を取り除いて修正しました。

9) 「INPUT文の入力待ちをしている状態で子ウィンドウを閉じると、他のプログラムを開く際にGPFが発生する。」

子ウィンドウを閉じる際に、入力待ち状態でも悪影響が出ないように修正しました。

10) パスワード(Password) ダイアログボックスをキャンセルする度に表示されていたエラーメッセージを削除しました。

[お問い合わせ先]

アイネット株式会社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F

Tel: 03-5623-2301 Fax: 03-5623-2305

E-Mail: sales@i2net.co.jp URL: <http://www.i2net.co.jp>

11) 「Windows95および98 でDOSコマンド用のEXECUTEコマンドが動作しない。EXECUTEを使ってDOSコマンドを実行しようとする、『パラメータが多すぎます』というエラーがでる。」

EXECUTEコマンドで、ウィンドウズのプログラムとDOSコマンドの両方が実行できるように修正しました。

12) SUSPEND INTERACTIVE の機能を拡張するための制御レジスタが以下のコントロール文に従い正しく動作するようにしました。

CONTROL KBD,7;x - キーボード割り込みを無効にする:

x の値に応じ、以下の操作を行う

- 0 全てのキーボード・キーを有効にする
- 1 RESETキー以外の全てのキーボード・キーを無効にする
- 2 RESETキーのみを無効にする
- 3 全てのキーボード・キーを無効にする

13) 「SYSTEM\$ ("SERIAL NUMBER") が、インストール過程で入力したシリアル番号を探せない。」

シリアル番号を正しく返すように修正しました。

14) MODULO コマンドで、変数のディメンションが正しく扱えなかったのを修正しました。

15) VAL文で生成した文字列からなるロング変数が扱えるように、SELECT 文を更新しました。(これまでは未サポート)。

16) EXECUTE コマンドの WAIT OFF オプションを修正しました。

17) -fn スタートアップスイッチで、コードページ選択を含むフォント情報がウィンドウズ・エディタへ渡せるように改善しました。-fnスイッチによる設定は、エディタ環境(Editor Environment)ダイアログボックスを使用してエディタのフォント設定をし直すことと書きされることに注意してください。

18) コードページ選択を、検索・置換 (Find & Replace)ダイアログボックスに反映しました。

19) -geometry スタートアップスイッチで、ツールバー表示の有無にかかわらず、子ウィンドウ領域を正しく設定できるように修正しました。

20) ソフトキー F9 および F10 がKBD CMODE 下で機能するように修正しました。

21) 「コントロール文CONTROL 10,114;2 を使って用紙の向きをプログラマ的に『ランドスケープ』に設定変更すると、マージン調整がされない。」
正しくマージンを取るように修正しました。

22) ウィンドウズ・エディタ内のRecallバーにスクロールバーを追加しました。

[お問い合わせ先]

アイネット株式会社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F

Tel: 03-5623-2301 Fax: 03-5623-2305

E-Mail: sales@i2net.co.jp URL: <http://www.i2net.co.jp>

- 23) 「変数名としてキーワード(予約語)を使うと、条件によるブレークポイントがうまく動作しない。デバッガでは、大文字・小文字の違いがあってもキーワードと変数名が混同されてしまう。」
大文字・小文字の違いがあれば、変数名とキーワードを明確に区別できるように修正しました。
- 24) 「『検索(find)』と『次を検索(find next)』が、1つの行から次の行へ移る際に機能しない。」
これらの命令を使って行を離れる際には、カーソルをその行から移すのと同じ効果が得られるようにして問題を解消しました。
- 25) ISC 26を使い、印刷、ダンプ(DUMP)、さらに同じ用紙に印刷という作業ができるようになりました。コントロール文CONTROL 26,112;x および CONTROL 26,113;x の使用により、印刷およびダンプ後に自動排紙の完全制御ができるようになりました。これは、以前はWIN-DUMPおよびWIN-PRINTの使用時に限られていた機能です。
- 26) 「Windows95/98環境下、大きな太字フォントを新エディタで使うと、カーソルを文字間に置いた時にテキスト位置がジャンプする。」
文字サイズを適切に更新し、極端なジャンプをしないように修正しました。
- 27) 「Fileメニューから『プログラムの印刷(print program)』を使う場合、ページ底部に印刷されるはずのページ番号が切れてしまう。」
ページ番号が完全に出力されるように修正しました。
- 28) 印刷制御(CONTROL PRT)レジスタ109 および 110 を実装し、WIN-PRINTドライバでXおよびY座標が指定できるようになりました。
- 29) 従来の"DUMP DEVICE IS 10" 時のAPPEND オプションは、DUMP GRAPHICS用ページ排出制御のための印刷制御(CONTROL PRT)レジスタ113 として機能します。
- 30) HPGLプロッタドライバ が、毎回プロットの度に1枚余分な空白ページを排出していたのを修正しました。
- 31) GPIBNI ドライバを更新して、あらゆるTIMEOUTをソフトウェアタイムアウトとして扱えるようにしました。タイムアウト時間は、OSのタイムアウト時間から32.767秒に変更しました。Windows 95/98 でのタイムアウト判断は55ms、Windows NT および 2000 では10 msです。
- 32) 「ENABLE INTR が終了してもメモリを解放しない。」
メモリが予約されないように修正しました。
- 33) シリアルバス上のON INTR が END文処理後に割り込みを報告しなかったのを改善しました。
- 34) イベントの取り扱いを改善するためBasic Plus を更新しました。
- 35) SCRATCH ALL 状態を扱うためBasic plus バイナリを更新しました。
-

[お問い合わせ先]

アイネット株式会社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F

Tel: 03-5623-2301 Fax: 03-5623-2305

E-Mail: sales@i2net.co.jp URL: <http://www.i2net.co.jp>